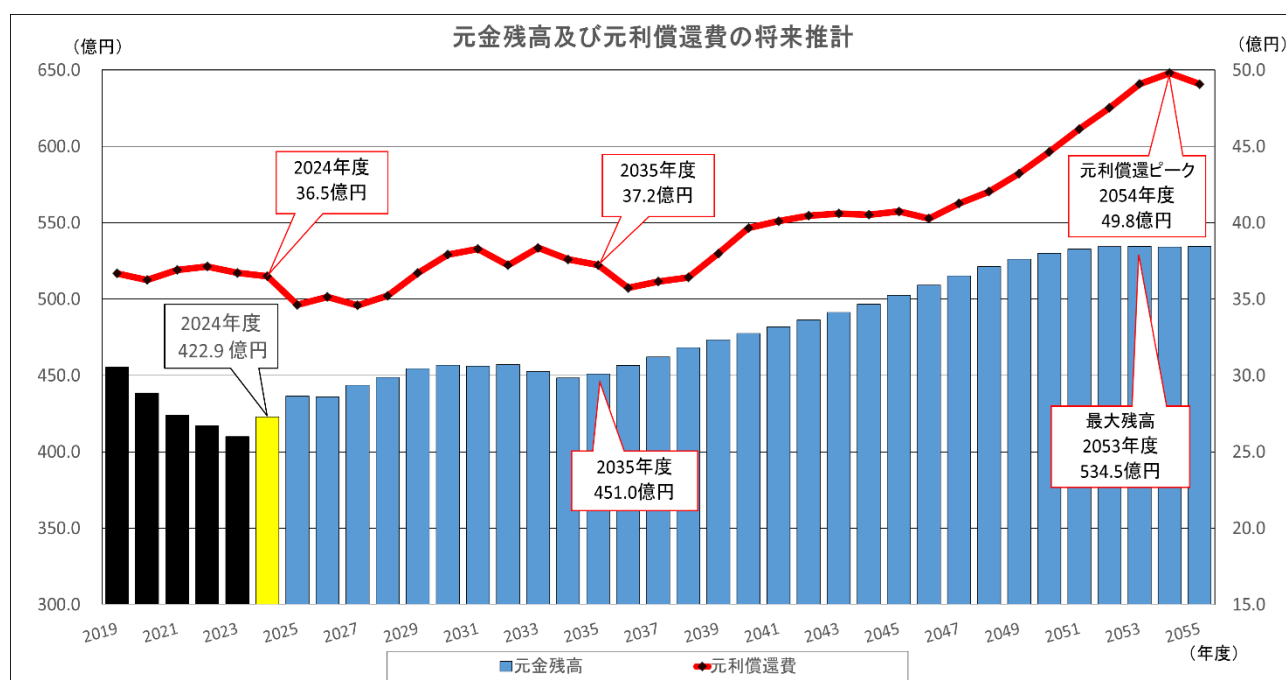


企業債残高と元利償還費の推移

2023 年度決算、2024 年度決算見込み及び 2025 年度以降の投資・財政計画表をもとに、2055 年度までの企業債の元金残高と元利償還費の推移を下図のとおり予測しました。

- ・元金残高は、2035 年度頃まで 450 億円前後で推移しますが、その後は増加に転じ、2053 年度には 534.5 億円に達する見込みです。
- ・元利償還費は、2040 年度頃まで 30 億円代後半で推移しますが、その後は 2054 年度をピークに増加していく見込みです。
- ・なお、元金償還費としてのピークは 2054 年度(31.2 億円)、利子償還費としてのピークは 2055 年度(18.7 億円)をそれぞれ見込んでいます。



※ 下水道事業債の借入期間を平均値の「28 年」として推移を予測しています。

※ 2036 年度以降の借入額は、2024～2035 年度の平均借入額「30.8 億円」を採用し、予測しています。